

# 共和薬品工業株式会社 溶出挙動の同等性及び溶出試験に関する資料

## アリピプラゾール錠 12mg 「アメル」

### 1. 溶出挙動の同等性

通知等	「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について」及び「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」（平成 24 年 2 月 29 日付 薬食審査発 0229 第 10 号）
試験製剤	アリピプラゾール錠 12mg 「アメル」 LOT No. 12A3-041-T1
標準製剤	アリピプラゾール錠 3mg 「アメル」 LOT No. 12A1-041-T1
試験方法	日本薬局方 一般試験法溶出試験法パドル法
試験条件	試験液量：900mL、温度：37±0.5℃

#### <判定基準>

回転数	試験液	判定
50	pH1.2	試験製剤が 15 分以内に平均 85%以上溶出する。
	pH5.0	
	pH6.8	規定された試験時間において標準製剤の平均溶出率が 10 %以下の場合、規定された試験時間において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±6 %の範囲にある。
	水	

#### <試験結果>

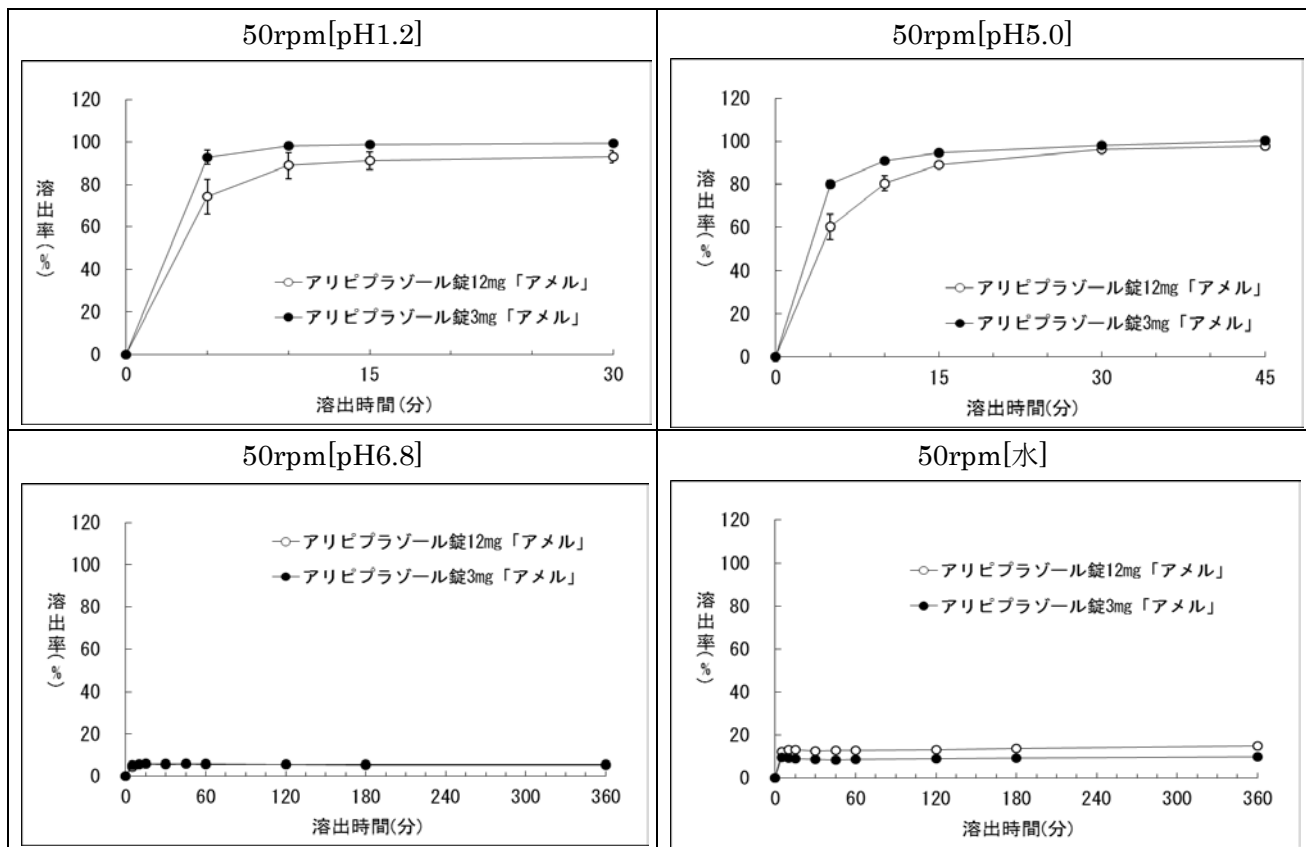
下記の通り、両剤の溶出挙動は同等であると判定された。

表 1. 溶出挙動の同等性 判定結果

試験条件			判定基準		平均溶出率%			判定結果
試験方法	回転数	試験液	溶出率	判定時間	標準製剤	試験製剤	差	
パドル法	50rpm	pH1.2	85%以上	15分	98.8	91.1	—	適合
		pH5.0	85%以上	15分	94.6	89.0	—	適合
		pH6.8	規定された時間	360分	5.7	5.3	-0.4	適合
		水	規定された時間	360分	10.0	15.0	5.0	適合

表 2. 溶出挙動の同等性の判定 (個々の溶出率)

回転数	試験液	判定時点 (分)	試験製剤		差 (%)	判定基準	判定
			平均 溶出率(%)	個々の 溶出率(%)			
50rpm	pH1.2	15	91.1	93.2	2.1	個々の溶出率が ±15%を超えるもの：1個以下 ±25%を超えるもの：0個	適
				91.9	0.8		
				82.6	-8.5		
				92.2	1.1		
				95.4	4.3		
				92.8	1.7		
				93.9	2.8		
				91.9	0.8		
				94.2	3.1		
				83.4	-7.7		
				90.8	-0.3		
91.4	0.3						
50rpm	pH5.0	15	89.0	89.1	0.1	個々の溶出率が ±15%を超えるもの：1個以下 ±25%を超えるもの：0個	適
				89.3	0.3		
				88.4	-0.6		
				89.6	0.6		
				90.3	1.3		
				89.1	0.1		
				86.7	-2.3		
				90.5	1.5		
				88.4	-0.6		
				87.2	-1.8		
				89.6	0.6		
90.1	1.1						
50rpm	pH6.8	360	5.3	5.2	-0.1	個々の溶出率が ±9%を超えるもの：1個以下 ±15%を超えるもの：0個	適
				5.5	0.2		
				5.8	0.5		
				4.5	-0.8		
				5.5	0.2		
				5.7	0.4		
				4.9	-0.4		
				5.1	-0.2		
				5.4	0.1		
				5.6	0.3		
				5.3	0.0		
5.1	-0.2						
50rpm	水	360	15.0	14.6	-0.4	個々の溶出率が ±9%を超えるもの：1個以下 ±15%を超えるもの：0個	適
				16.5	1.5		
				15.0	0.0		
				14.8	-0.2		
				14.6	-0.4		
				16.1	1.1		
				14.1	-0.9		
				16.5	1.5		
				13.6	-1.4		
				16.9	1.9		
				13.5	-1.5		
				13.7	-1.3		



(Mean±S.D., n=12)

図1. 溶出曲線

## 2. 溶出試験

日本薬局方一般試験法溶出試験法パドル法に基づき試験を実施し、以下の溶出規格に適合していることが確認されている。

表示量	回転数	試験液	規定時間	溶出率
12mg	50rpm	pH5.0 のリン酸水素二ナトリウム・クエン酸緩衝液	30分	80%以上